

FUJILLOY

2020年3月期中間期 株主通信

富士ダイス通信

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日

当社WEBサイトのご案内

最新のIR情報や詳しい情報は当社のWEBサイトに紹介しております。ぜひご覧ください。

富士ダイス 検索

<https://www.fujidie.co.jp/>

中間期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

売上高	8,885百万円	経常利益	601百万円
営業利益	495百万円	親会社株主に帰属する 四半期純利益	416百万円

堅固な財務基盤に加え、潤沢な手元資金

- 純資産 186億円
- 自己資本比率 76.3%
- ネットキャッシュ 49億円

富士ダイスの強み

1 超硬耐摩耗工具メーカー

当社は、創業以来、**超硬耐摩耗工具**の製造に経営資源を集中してきました。**塑性加工**力学に立脚した設計から原料粉末の調製、焼結、加工、製品検査まで、世界最高水準の技術と技能による一貫生産体制で、お客様のニーズに最適な超硬合金製品を提供しており、超硬耐摩耗工具業界では長期に亘り国内トップシェアを堅持しています。



2 競争力の源泉となる力

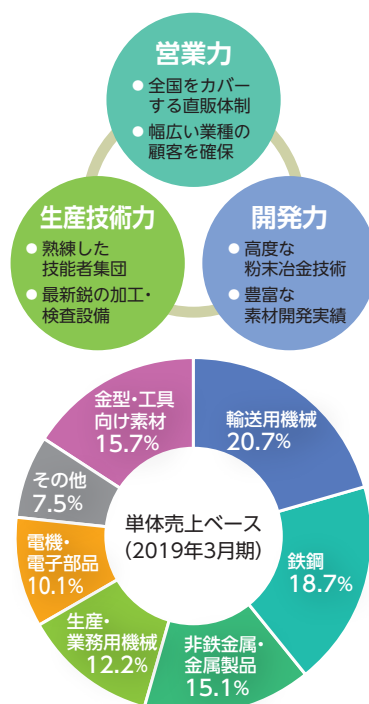
お客様と緊密な関係を保つために、業界最大の約100名の営業員を擁する直接販売による営業力。高度な**粉末冶金技術**による**素材開発**力。熟練した技能者集団と最新鋭の加工・検査設備による高い生産技術力。これら3つの力の総和によって、お客様の要望にタイムリーに対応し、最適なソリューションを提案することで高い競争力を実現しています。

3 取引先は業種も多岐に亘る

当社の超精密、高精度、高品質な超硬製品は、建築物や光通信などのインフラ設備から、輸送用機械、コンピューター、医療機器、家電製品、生活用品に至るまで、非常に広範な産業分野における部品製造や素材として利用されています。このように、永年のモノづくりの安全と信頼を支えて築いた取引社数は、年間約3,000社に上ります。

4 創業から現在まで黒字経営

創業以来、大きな景気変動や経済危機等の発生時においても赤字なし。約70年に亘って黒字経営を継続しています。さらに、高い自己資本比率に加えて潤沢な手元資金を保有しており、極めて堅固な財務基盤を維持しています。



用語解説

超硬耐摩耗工具

耐摩耗性、高弾性率、高圧縮強度が求められる工程に用いる高硬度、高強度な特性を有する超硬合金製の工具をさします。

塑性加工

物質に力を加えて塑性変形させ、各種形状に加工する方法。圧延加工、鍛造加工、押出加工、引拔加工、プレス加工等があります。

粉末冶金技術

金属粉の製造(形状、寸法、混合の調製)および金属粉の圧縮、成形、焼結によって金属製品を製造する技術。

素材開発

耐摩耗性だけでなく耐熱性、耐食性、非磁性等、多様な機能を持つ新素材(超硬合金、セラミックス、固体潤滑複合材料他)を開発しています。

ごあいさつ

平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第64期中間期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の事業概要についてご報告申し上げます。

世界の政治、経済環境は目まぐるしく変化し、依然として景気下振れリスクが増大し、先行き不透明感は高まっています。このような状況下、当社グループは中期経営計画の2年目となる2019年度(2020年3月期)は、「挑戦」を年度方針に掲げ、高品質・低コスト・短納期・充実したサービスの向上に努めてまいりました。その結果、自動車部品生産金型や光学レンズ成形用金型は堅調に推移しましたが、半導体関連の市況の悪化で、半導体生産用やスマート

2018~2020年度 中期経営計画4つの重点施策

- ① 成長力・収益力の強化
- ② 顧客ニーズの変化への柔軟な対応
- ③ 海外展開の加速
- ④ 新製品開発・新技術開発

この中で「成長力・収益力の強化」「顧客ニーズの変化への柔軟な対応」に関するトピックスについて説明します。

PICK UP



2019年9月30日付
「日本証券新聞」掲載



2019年9月11日付「日刊産業新聞」掲載

- ① 成長力・収益力の強化
- ② 顧客ニーズの変化への柔軟な対応

- 生産設備の自動化や改善(IT活用やロボットの導入)
- 生産情報の一元化や生産技術による改善
- 不採算製品の見直し
- 自動車部品の製造に用いる鍛造^①金型などの生産能力の強化
- 光学レンズ用(一眼レフ・防犯カメラ他)金型の需要増対応

主な施策 IT(情報技術)と生産体制見直しによる生産効率向上

	STEP 1	STEP 2	STEP 3
IT関連	● 工程管理システムによる生産日程の最適化	● 生産情報の一元管理(図面・加工データ)	● IoT技術の導入による生産計画の最適化
生産関連	● 生産体制再構築(生産効率化・環境対応)	● 自動化、省人化、ライン配置 ① 検査自動化 ② MC(マシニングセンター) ^② 自動化 ③ 異工程連動他	● 自動化ラインの横展開 ● 工場集約 ● 子会社対応の拡大

※Step1・Step2並行展開

用語解説

鍛造

金型を使って、金属材料の一部または全体を圧縮や打撃により、成形する加工方法。室温に近い温度で行われるのが冷間鍛造。自動車関連部品の強度を出すためによく使用されています。

マシニングセンター

多種・多数の工具の自動交換装置を備え、コンピューター制御により金属の切削や研削など複合的な精密加工を全自動で行う数値制御工作機械。自動車部品用やプレス機用の金型など、様々な機械部品の製作に使われています。

フォン用の超硬素材と、他に混練工具の販売が低調で連結売上高は前年同期比において減収となりました。下期はこれらの挽回に努めてまいります。

当社は企業理念および大切にしている価値観の浸透のために、毎朝研修を行っています。その中の重要項目の一つである「誠実さ」を常に忘れず、日々、まじめにお客様の要望に応えていきます。

当社グループの活動状況につきましては、更なるご理解をいただけるように透明性、公平性、継続性を基本として積極的な情報開示をしていきます。

今後とも、一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願いいたします。



2019年12月

代表取締役社長 西嶋 守男

海外グループ会社の紹介

FUJILLOY (THAILAND) CO., LTD. (タイ)

 耐摩耗性に優れた超硬工具のタイでの需要増加に対応して設立しました。当社の主力生産拠点の一つです。



チョンブリ

バンコク市街から2時間のところにある工業団地が多い都市。日系企業も多く進出しており、自動車関連の製造業や海運などの物流会社が多い。



本 社 タイ国チョンブリ県
設 立 2003年12月
決 算 期 12月
取 扱 品 ●引抜ダイス/プラグ(鉄鋼/非鉄用)
●冷間成形ロール(鉄鋼用)
●鍛造金型(自動車部品用)
●粉末成形金型(自動車部品/電子半導体用)
●抜き/絞り/曲げプレス用金型
●その他 刃物/治工具 等

最近のトピック

「コマ大戦 第3回バンコク場所 2019」参加

2019年6月、“M fair バンコク2019ものづくり商談会”の会期中に開催される「コマ大戦 第3回バンコク場所 2019」に参加しました。結果は、出場34チームのベスト8まで進みました。



コマ大戦 各企業が社内に保有する金属製品の設計力や製造技術力を対外的にアピールする場として開催。世界中の金属加工業者が自社で製作したケンカコマ(直径2cm以下、全長6cm以内、材質や形状・重量は自由)を土俵上(直径25cm)で一对一でぶつけ合う競技。

コーポレートガバナンスコード

ステークホルダーとの対話

個人投資家 との対話

個人投資家向け説明会(横浜/池袋/熊本)を実施

個人投資家の皆様を対象に、証券会社の支店等において、会社説明会を定期的に開催しています。

当社の事業内容や成長戦略の理解を深めていただき、当社へのご意見やご要望を直にお聴きする場としています。



機関投資家 との対話

機関投資家向け施設見学会(郡山製造所)を実施

機関投資家および業界紙・専門誌等メディア記者を対象とする郡山製造所見学会を開催しました。

モノづくり企業を良く知る専門家としての客観的視点で、製造現場の印象や優れている点、さらに生産効率の向上に関する指摘等をいただきました。



コーポレートガバナンスコード(CGコード)

企業統治(コーポレートガバナンス)を実行するための行動規範。金融庁と東京証券取引所が原案をまとめ、2015年6月から上場企業を対象に導入されました。

ステークホルダー

企業に対して利害関係をもつ人をさします。株主、社員、顧客・消費者、地域社会、取引先、金融機関、官公庁などが対象。

コーポレートデータ

■連結決算データ

(単位:百万円)

	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2019年9月	2020年3月(予想)
売上高	16,648	17,990	18,356	8,885	18,700
営業利益	1,161	1,465	1,272	495	1,230
経常利益	1,194	1,473	1,348	601	1,390
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	855	932	950	416	990
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	42.76	46.63	47.54	20.81	49.50
総資産	25,245	26,245	25,752	24,503	
純資産	17,836	18,397	18,749	18,690	

■会社概要 (2019年3月31日現在)

社 名 富士ダイス株式会社
 創 業 1949年6月6日
 本社所在地 〒146-0092
 東京都大田区下丸子2-17-10
 資 本 金 164百万円
 拠 点 営業拠点13 生産拠点7
 グループ会社 国内2社 海外5社
 従 業 員 1,145人(連結)

■役員一覧 (2019年9月30日現在)

代表取締役社長	西嶋 守男	常 勤 監 査 役	宮川 弘
常 務 取 締 役	久保井 恒之	社 外 監 査 役	岸田 一男
常 務 取 締 役	春田 善和	社 外 監 査 役	大森 実
取 締 役	千葉 理彦		
取 締 役	渡邊 祥司		
取 締 役	多田 隈 豊		
社 外 取 締 役	本多 實		
社 外 取 締 役	澤井 英久		

■株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から3月31日まで
 定 時 株 主 総 会 毎事業年度終了後3ヶ月以内
 株 主 確 定 基 準 日 毎年3月31日
 剰余金の配当基準日 毎年3月31日および9月30日
 株 式 の 売 買 単 位 100株
 証 券 コ ー ド 6167
 上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所 市場第1部
 株 主 名 簿 管 理 人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 連 絡 先 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711(通話料無料)
 郵送先 〒137-8081
 新東京郵便局私書箱第29号

公 告 方 法 電子公告により行います。ただし電子公告により行えない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。公告掲載URL
<https://www.fujidie.co.jp/>

■IRカレンダー

第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
● 期末決算			● 第1四半期決算			● 第2四半期決算			● 第3四半期決算		
● 招集通知											
			● 定時株主総会								
			● 株主通信						● 株主通信		
									● 期末配当基準日		

富士ダイス株式会社

〒146-0092 東京都大田区下丸子2-17-10
 TEL:03-3759-7181 <https://www.fujidie.co.jp/>



本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は、当社の予想と異なることがありますので、ご承知おきください。